

十八中だより



令和8年（2026年）年7月3日
DAI-JUHACHI JUNIOR HIGH SCHOOL 第3号
豊中市立第十八中学校 校長 三輪穂久登

【7月生徒集会の話～「いってきます！」に込められた想い～】

先日、十八中を訪問された方から「十八中の生徒さんはあいさつをしてくれて、気持ちがいいです」と言っていただきました。とてもうれしく思います。

そこで、いつもしっかりあいさつしてくれているみなさんに質問です。

皆さんが朝、学校行くときにおうちの人に「いってきます！」と言って出ますよね。

この「いってきます！」という言葉にはどんな意味が込められているか知っていますか？

この言葉には「行きます」と「帰ってきます」という意味＝想いが込められているところからできた言葉だそうです。

ちなみに、「いってらっしゃい」という言葉もあります。これは「行って、無事に帰ってきてくださいね」という想いが込められた言葉になります。

昔は旅をするときにも、危険なことがあり命がけでしたから、旅をする人は、「いってきます」と言うことで家族の人たちに「必ず帰ってきます」という誓いをたて、見送る人は「いってらっしゃい」という言葉に「行って、無事に帰ってきてください」という想いを込めて言っていたとのことです。

普段、何気なく使っていた言葉に、こんな深い意味＝人の想いがあったんですね。

そしてこの想いが強かったのは、戦争中です。

戦争へいく人は「いってきます」と言うことで「必ず生きて帰ってきます」という想い、見送る人は「いってらっしゃい」と言うことで、「無事に生きて帰ってきてください」という想いを込めていました。

しかし、「いってきます」と言わない、言えない人たちがいました。

81年前の戦争です。第二次世界大戦、この戦争で日本は「神風特攻隊」という部隊をつくりました。

この「特攻隊」の人は「いってきます」とは言わずに「行きます」と言っていました。

「行ってきます」「行って帰ってきます」と言うことができなかったのです。

その理由は、特攻隊の人たちは、小さな飛行機に乗って、敵の基地や戦艦めがけて、体当たりをしていくのが任務でした……。

今、日本は戦争のない日々が81年続いています。

さて3週間後、夏休みとなります。

夏休み期間中の8月6日は広島、9日は長崎の原爆の日です、また8月15日の終戦記念日とこれまでの戦争や平和について考える機会があります。

どうかみなさん、この夏休みは「いってきます！」という言葉キーワードに戦争と平和について考えてみてください。安心して「いってきます！」と言えること、ありがたいですね。